

子どもの姿	◆どのような子どもの姿があったのか？この活動を考えるきっかけとなった子どもの姿 ・チューリップ畑へ出掛けたことをきっかけに、花の色について興味を持つ。 ・種に色を塗ればその色の花が咲くと仮説を立て、アサガオで実験する。 ・色の種通りに咲いた花とそうでない花があった。「どうしてだろう？」と疑問を持ち続ける。 ・絵の時間という課業があり、普段から水彩画を楽しんでいる。自由画では好きな色を自分で作って描いている。 ・絵を描く素材は今まで画用紙だけだった。立体物に描ける素材としてアクリル絵の具を用意し、水彩絵の具との違いに気づきながら、自分なりに描く楽しさを味わってほしい。
問い	◆思考のきっかけとなる子どもへの問い 「水彩絵の具とアクリル絵の具の違いって何だろう？」 「アクリル絵の具で描いた感触はどうだろう？」
活動をデザインする	◆活動のプロセス DAY①アクリル絵の具と水彩絵の具で紙やクリアシートに描き、感触を味わいながらそれぞれの絵の具の特徴に気付く。 DAY②アクリル絵の具で好きな色を作って、好きな素材に描いてみる。作品をお互いに見せ合いながら振り返る。 ◆保育者の思い ・それぞれの絵の具の違いに気付いてほしい。 ・試行錯誤しながら好きな色を作り出し、様々な素材に描くことを楽しんだり、新たな感触を味わってほしい。 ・振り返りの中で友達と楽しさを共有したり、お互いの作品の良さに気づき、認め合ってほしい。 ◆保育者のアクション ・水彩絵の具とアクリル絵の具の違いが明確になるような環境を設定する。 ・色を作る際はイメージ通りの色ができない子もいると思うので、対話を行いながら進める。 ◆子どものアクションの予想 ・新しい絵の具に目を輝かせながら飛びつく。やってみようとする。 ・水彩絵の具とアクリル絵の具の違いに気付く。紙以外の素材に喜んで描く。
環境をデザインする	◆どのような場所で行うか？ ・保育室 ・机2台

	◆どのような道具を使うのか？ ・水彩絵の具とアクリル絵の具（赤、青、黄、白） ・筆（大・中・小）×3 ・パレット×3 ・バケツや布巾×3 ◆どのような素材を使うのか？ 画用紙 クリアシート 廃材（ペットボトル、ガチャガチャの透明カプセル、木片など） ◆どんなことに配慮するのか？ ・水彩絵の具とアクリル絵の具の違いについて、答えを導きだすようなやりとりはしない。 あくまで気付いたことに対する共感と、違いについての子どもなりの見解を受け止めていく。 ・振り返りの中ではお互いの良さを認め合えるよう関わっていく。
小グループ構成	年長児6名 当日の出欠状況で、DAY①は3名、DAY②は4名で行った。

《保育者の振り返り》

- ・水彩絵の具とアクリル絵の具の違いについて、活動中はあまり感じられなかったようだが、絵の具が濁くとよく気付くことができた。
- ・子ども達は興味津々で活動に参加していたが、思っていたよりも“声”が聞かれず、黙々と対象と向き合っているような印象だった。
それぞれの思いに共感することはできたが、子ども達の発想や探究心を導く、質の良い“問いかけ”に難しさを感じた。
- ・DAY②では作りたい色や物のイメージを持って取り組む子と、色を作ることや塗ること自体の感触を楽しむ子と、それぞれの楽しみ方が見られた。「もっとやりたかった」と訴える子もいたので、活動時間にもう少し余裕を持たせればよかった。
- ・少人数で行うことで、子ども達のやりたいことや思いにじっくりと寄り添えたと感じた。このような充実した体験が心の豊かさに繋がるだろう。



探究活動「色」

DAY 1 水彩絵の具とアクリル絵の具の違いって何だろう？



保育者

「新しい絵の具を買ったの。
いつもの絵の具と違うんだって。使ってみたい？」

A「やる！」

B「やってみたい！」

保育者「まずはいつもの絵の具で描いてみよう」

A「いつもの絵の具だね」





Cが線を描くとAも同じように描き出す。
Bはしばらくその様子を見続けた。
何を描こうか悩んでいる様子である。
保育者が「何を描きたい？線とか丸とか、何
でもいいよ」と声を掛けるが何も答えない。

Bはしばらく友達や保育者の描く様子を見て、
真似しながら線と丸を描いた。

「できた！」





保育者「次に透明なクリアシートに描いてみよう」

A「これ知ってる！
お道具箱の中に入ってる（透明ファイル）！」

保育者「描ける？どんな感じ？」

A「紙と違って楽しい」
C「描きずらくはないよ」

Bは何を描こうか再び悩んでいる様子。



B「大きいリンゴ描いた」

「横にちっちゃいイチゴ描いたけど、消えちゃった」

「丸を速く描くと消える」



Bはリンゴを描き、横に小さなイチゴを描く。
水彩絵の具がはじく様子を繰り返し試す。



保育者「次は新しい絵の具で描いてみよう」

A「ケチャップみたい」

保育者「音がする？」

C「チャプチャプ聞こえる」

保育者「においはどう？」

A「えーっとね、あれのにおいだ、
そう！マーカーペンのにおい！」

B「マジックペンじゃない？」



Bは悩まずに描き始める。
豪快に円を描き、太陽の形を作った。

保育者
「さっきの絵の具とどこが違う？」

B「こっちの方が強い」



保育者「新しい絵の具の名前は“アクリル絵の具”っていうんだよ」

「いつも使っている水彩絵の具と何か違うところはあった？」

B「アクリル絵の具はべったりくっつく。」

「（水彩絵の具は乾くと）色が違う。ピンクになった。」

保育者「どっちの絵の具が楽しかった？」

C「水彩絵の具の方が慣れてるから楽しい」

A「アクリル絵の具の方が楽しかった。水が垂れてこないから。」





探究活動「色」

DAY 2 アクリル絵の具で好きな色を作って描いてみよう！





保育者「アクリル絵の具で好きな色を作って
描いてみよう！」

「好きなものに描いていいよ」

男児「やったー！どれにしようかな？」



赤、青、黄、白を使い、それぞれ好きな色を作る。

水色、紫



ランドセルを緑にしたいから、緑色を作る

黄、緑、赤



青、紫



水色、ピンク
橙、黄緑、青





D「違う」

「この緑じゃない」

保育者と相談しながら納得のいく“緑”を作る。



D「カプセルに描くの、気持ちいい」

Dはガチャガチャのケースに黙々と塗る。



E「見て！」「塗るのが（紙と）違う！」

「木が好きだから木に塗った」



Cはクリアシートにチューリップを描く。

C「紙に描く時より滑る」

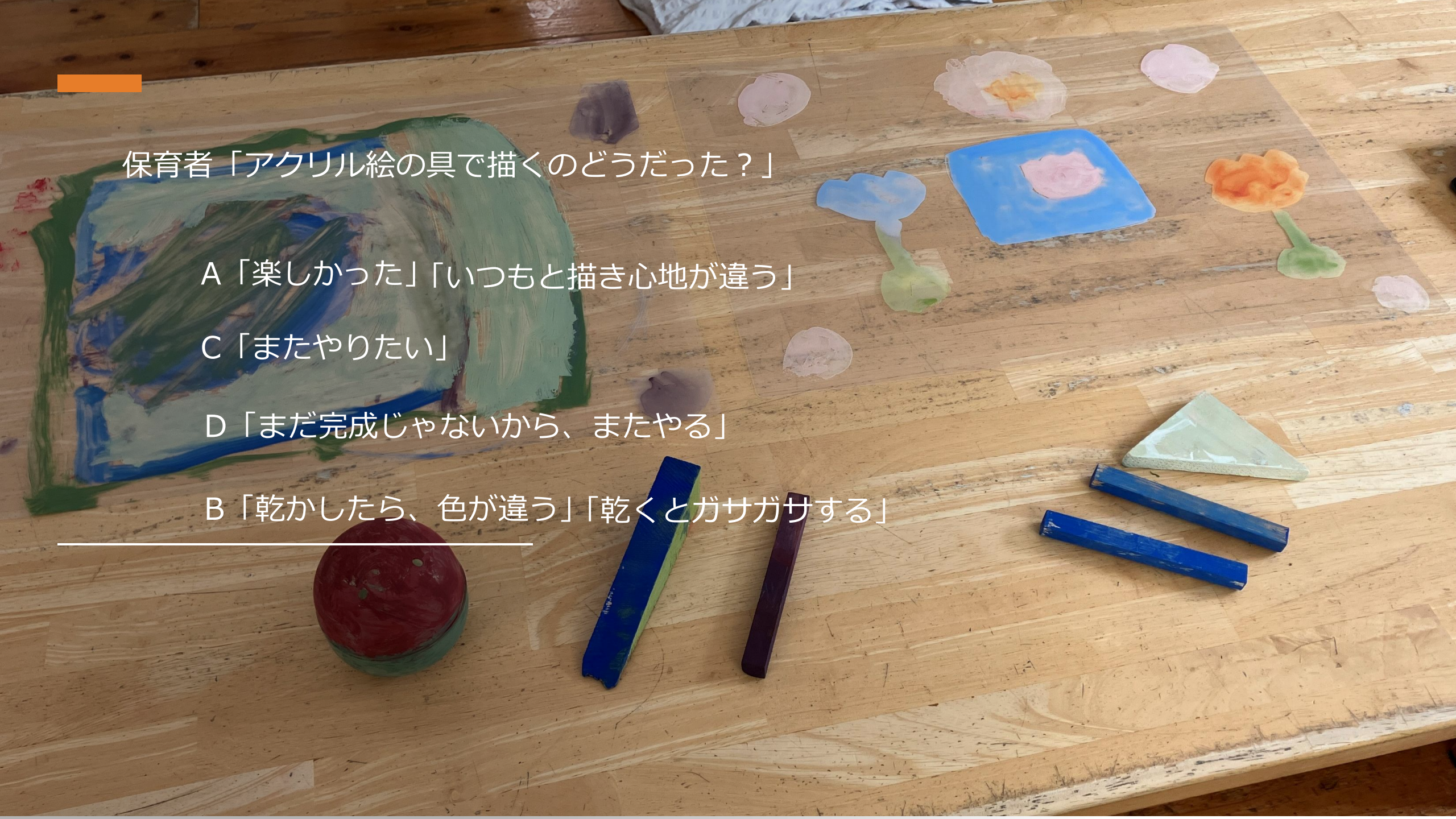
A「薄いグリーンは枝豆っぽい」

Aはクリアシートと木片に好きな色を塗る。





Cはクリアシートを窓に掲げ、光が入る様子をじっくりと観察していた。



保育者「アクリル絵の具で描くのどうだった？」

A「楽しかった」「いつもと描き心地が違う」

C「またやりたい」

D「まだ完成じゃないから、またやる」

B「乾かしたら、色が違う」「乾くとガサガサする」
